

(震度 5 弱以上)

### 地震発生時の対応

## 災害対応フロー



注) 区 長 ; 区民の会会長

会 長 ; 自主防災会会長

役 員 ; 自主防災会本部役員

無線機 ; 簡易業務無線

\* 会長が対応不可能な場合、副会長が代行

### 自主防災会本部の行動

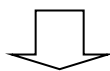
### 住民の行動

地震発生

会 長

会長は「役員を招集」する事を区長に連絡

- 役員を招集 (一斉メール)



役 員

- 役員は家族及び近隣住民の安否と安全を確認後、夜間事務所に集合 (途中崖崩れ等本部に向かう事が困難な場合は、自地区に留まり自地区で活動する)
- 夜間事務所に集合後、情報担当は無線機と DMCA 無線機を受信待機状態にセットする  
尚、担当役員が不在の場合は他の役員が代行する
- 情報担当は無線機により各地区との交信状態を確認し、各地区の災害情報を収集整理の上、必要な情報を各地区に伝達 尚、無線機での対応が困難と判断される場合は他の手段で臨機応変に対応する
- 各役員は協力して TV, ラジオ、DMCA-無線機などでの災害情報を共有し対応に備える
- 区長 (又は会長) は DMCA 無線機で「ダイヤト」の災害情報を町に伝達、必要に応じて支援を要請する

住 民

- まず、自分の身を守る
- 家族の安否及び安全を確認  
火の始末、電源ブレーカーを遮断  
火が出ても落ち着いて初期消火
- 問題がなければ「安否確認旗」を掲揚、避難行動の準備 (非常持出等)
- 近隣住民で助け合い、近隣や周辺の安全の確認、怪我人はいないか? 近隣の災害時要支援者は大丈夫か?
- 出来るだけ集団を作り、自地区の集合場所へ移動

幹事・班長 (地区集合場所で)

- 幹事は被害情報の収集・整理のため防災員中心に体制を組み被害情報の収集に努める  
尚、幹事不在の場合は、班長他が代行する
- 無線機を ON CH01 VOL20 に合わせ受信待機状態にセット
- 手分けしてラジオ等で災害情報を収集
- 幹事は収集された被害状況を無線機で逐次本部に連絡、以降連絡網の維持に努める
- 幹事は住民の動向把握に努め、防災員及び住民も無断行動や単独行動の禁止を厳守する
- 出来るだけ情報を公開し共有する
- 住民は助け合いの心を持ち、幹事班長を中心に落ち着いて行動する